

電波防護指針に基づく電界強度（アマチュア用）

												氏名：
												コールサイン： J0RPU
周波数帯	1.9MHz帯	3.5MHz帯	3.8MHz帯	7 MHz帯	10 MHz帯	14 MHz帯	18 MHz帯	21 MHz帯	24 MHz帯	28 MHz帯	50 MHz帯	
定格電力P[W]		1,000	1,000	1,000		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
給電線損[dB]		0.40	0.40	0.60		0.80	0.90	1.00	1.20	1.30	1.50	1.50
空中線利得G[dBi]		2.15	2.15	2.15		11.20	11.60	12.20	11.70	11.30	15.50	15.50
平均電力率		1.00	1.00	1.00		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
俯角減衰量[dB]		0.00	0.00	0.00		7.80	7.80	7.80	7.80	7.80	15.00	15.00
空中線高[m]		3.00	3.00	3.0		19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5
空中線地上距離[m]		8.0	8.0	8.0		7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6
空中線直線距離R[m]		8.54	8.54	8.54		20.93	20.93	20.93	20.93	20.93	20.93	20.93
空中線の形式		ダイポール型	ダイポール型	ダイポール型		八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型
俯角[°]		20.6	20.6	20.6		68.7	68.7	68.7	68.7	68.7	68.7	68.7
安全距離[m]		1.8	2.0	3.6		8.1	10.7	13.3	14.3	16.1	11.2	11.2
強い反射物の有無		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
算出電界強度 E[V/m]		49.59	49.59	48.47		22.33	23.11	24.48	22.59	21.32	14.75	14.75
基準値 [V/m]		230.49	216.56	116.06		57.42	45.35	38.41	32.97	27.74	27.50	27.50
判定		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

【備考】

- 1)空中線設置状況
- 2)給電線損[dB]
- 3)空中線利得G[dB]
- 4)俯角減衰量[dB]
- 5)空中線高[m]
- 6)空中線地上距離[m]
- 7)空中線距離R[m]
- 8)算出電界強度E[V/m]
- 9)強い反射物の有無

添付の「空中線設置図」および「空中線設置立面図」を参照下さい。

給電線損失に加え、コモンモードフィルタ・ローパスフィルタの挿入損失を加算して代入。

3.5・3. 8・7MHzはダイポール型につき理論値2.15dBを代入、14～50MHzはアンテナメーカー発表の値を代入しています。

アンテナ「KA1-204」の諸元を資料として添付致します。

アンテナ「KA1-204」の諸元を資料として添付致します。

空中線高は（空中線の地上からの高さ）－（離隔最短距離点に於ける地上からの高さ）を記入。

⇒空中線立面図に記載されている地上からの高さから2m（人の頭部）を差し引いた高さです。

空中線が形成する素子の先端を地上に垂線を下ろし、免許人または同居する家族以外の第三者が往来する場所で、空中線形成素子と第三者往来地点に最も近い地点までの距離を代入しています。

回転する14～50MHz帯空中線は、回転半径の先端、即ち空中線を形成する素子中のいずれかの素子と第三者往来地点が最も接近する地点までの距離を代入しています。

上記6・7から 空中線距離＝√（（空中線高）²＋（空中線地上距離）²）で求めています。

大地反射係数（76MHz未満は「4」、76MHz以上は「2. 56」）を考慮しています。

電波放射源近辺に強い反射を生じさせる構造物が無いため「0」としました。